

科目名	行動生理学Ⅱ	
担当者	山口 勝機 / YAMAGUCHI, Katsunori	
科目情報	心理臨床<心理学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	脳と行動の関係を明らかにする研究方法について学ぶ。また本能行動や情動行動の発現に重要な大脳辺縁系の扁桃核、海馬ならびに視床下部には快不快の感情、怒り、闘争、食べる飲むなど様々な働きがあることについて学ぶ。
	到達目標	本能行動の研究方法について学び、それらの研究方法を用いて大脳辺縁系の扁桃核や視床下部の働きがどのように解明されていったかということや、これらの脳部位が心の働きに深くかかわっていることを理解する。
授業計画	(1) 本能行動について - 比較行動学 - (2) 本能行動について - 比較行動学 - (3) 本能行動について - 生理心理学 - (4) 本能行動の研究方法 (5) 大脳辺縁系について (6) 扁桃核および視床下部への入出力系 (7) 視床下部と摂食行動 (8) 視床下部と情動行動 (9) 扁桃核と情動行動 - 1 - (10) 扁桃核と情動行動 - 2 - (11) 海馬と記憶 (12) ストレスと大脳辺縁系 - 1 - (13) ストレスと大脳辺縁系 - 2 - (14) 脳の性分化 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・講義内容に関連する図書を読むこと。
使用教材・参考文献	【教】講義のときにプリントを配布する。	
成績評価方法と基準	本能行動や情動行動に大脳辺縁系の扁桃核、海馬、視床下部がどのようにかかわっているかについて理解が達成されたものは合格とする。その方法は筆記試験により判定する。	
備考		